

《校訓》 自主自律

《学校教育目標》「志を持ち、学び合い、高め合う」生徒



群 青

小山中学校だより
第10号 H29. 2. 22

2年生「立志式」学年委員長のあいさつ（要約）

2月8日（水）に二年生の「立志式」が行われました。「立志式」は、数え年15才となる中学二年生のこの時期に、生徒一人一人が、将来の夢への展望と保護者への感謝を伝えることを目的に行う、学校の行事です。



保護者の皆様、お忙しい中、本日は私たち二年生の「立志式」に御参加いただき、心より感謝申し上げます。開式の言葉を兼ねて、学年委員長として、挨拶をさせていただきます。

私たちがこの小山中学校に入学してから、二年が経とうとしています。入学したばかりの頃は、三つの小学校の新しい仲間と仲良くやっ

ていけるか心配でしたが、学年レクリエーションや焼津・海の学習などを通して、三校の垣根を越えて仲間が増えていきました。また、授業時間も長くなり、教科によって先生が変わること、さらにテストで順位が出ることも慣れるまで大変でしたが、やがて、部活動や生徒会活動にも慣れ、中学校最初の一年間を充実して過ごすことができました。

二年生になって、初めてのクラス替えがありました。新しい仲間との出会いと、仲間の新たな一面の発見ができました。前期の大きな行事である体育大会では、一組、二組とも練習を通じてお互いを高め合いました。全校生徒で踊った「よさこいソーラン」もよい思い出として残っています。大会当日は、激しい戦いの中、二組が優勝旗を手に入れました。前期の終わりには、群青祭が行われました。毎日の合唱練習を通して、クラスの絆がだんだん深まっていくのを感じました。当日は、どちらのクラスも迫力のある合唱を披露し、最高の合唱となりました。部活動では、三年生が引退し、私たち二年生が中心となりました。各部活動で日々の練習に力を入れ、大会でよい結果を出す部もありました。私の所属するバスケットボール部では、基礎から見直し、チームで目標を決め、部員全員が手を抜かずにしっかりと練習をしています。少しずつ個人のスキルも向上してきています。半年後に迫った中体連で目標が達成できるよう全力で頑張ります。

私たちにも進路の選択が近づいています。一年生の職場見学、二年生の社会体験学習、職場体験を通して、少しずつ進路や将来に向けて考えるようになりました。私は、まだはっきりとした夢が決まっていないこともあり、なかなか考えが進まず悩んだ時もありましたが、先生方や友達に相談することで見えてくる道もありました。四月には三年生となり、最上級生として小山中を支えなければなりません。そして、一年後には次の進路に向けて卒業する私たち。今まで、何でも親に頼っていたことも、考え直さなければなりません。むしろ、私たちが家族を支えられるようになりたいです。私たち二年生は、それぞれのクラスで苦手なところは補い合い、お互いを高め合いながら成長できる素晴らしい学年です。この仲間と一緒に過ごす日々を楽しい思い出をつくりながら大切に過ごしていきたいと思



これから、一人一人が将来に向けての「決意の言葉」を発表します。この言葉は、これから成長していく私たちの「心の糧」となるはずで

す。思いを込めて発表しますので聞いて下さい。

それでは、ただ今から平成二十八年度 小山中学校二年生立志式を開会いたします。

平成29年2月8日 二年学年委員長 岩田 優杏

2月の表彰等 (敬称略)

《静岡県児童生徒紙上美術展駿東地区審査》

※小山町審査で特選となった作品が駿東地区審査に出品されました。

【デザイン部門】	特選	山崎 円 (3年)	伊藤 千晶 (1年)	佐藤 もえ (1年)		
	入選	妹尾 太陽 (3年)	古賀 凜 (3年)	岩田いずみ (3年)		
(小山町審査)	入選	脇田 光一 (3年)	小見山愛里 (3年)	深澤 南香 (1年)		
		露木 彩絵 (1年)	湯山 水彩 (1年)			
		鈴木 るか (3年)	望月 雅也 (3年)	臼井 捷翔 (3年)		
		渡邊 愛子 (3年)	鈴木 愛実 (1年)	久保 星空 (1年)		
		岩田 健聖 (1年)	糸賀 里菜 (1年)	松本 愛海 (1年)		
		石井 紅葉 (1年)				
【版画部門】	特選	山崎 円 (3年)	入選	渡邊 愛子 (3年)		
【立体部門】	特選	岩井 彩良 (2年)	入選	湯山 紗永 (2年)	三島 裕弥 (2年)	
【絵画部門】	特選	岩井 彩良 (2年)	田代 海斗 (2年)	湯山 紗永 (2年)		
(小山町審査)	入選	桑原 千咲 (2年)	稲 舞香 (2年)			
		渡邊 実由 (2年)	鈴木 志歩 (2年)	稲 卓史 (2年)		
【書写部門】	入選	馬場 柊次 (3年)	鈴木 るか (3年)	坂本 滉太 (3年)		
		岩井 彩良 (2年)	鈴木 志歩 (2年)	湯山 水彩 (1年)		
		(小山町審査)	入選	松井 美菜 (3年)	岩瀬 姫奈 (3年)	山崎 琉名 (2年)
		桑原 千咲 (2年)	稲 啓汰 (1年)	高橋 悠斗 (1年)		
		藤曲 紬 (1年)	池谷 日陽 (1年)	岩瀬 拓夢 (1年)		
		淡田 理恵 (3年)	岩田いずみ (3年)	岩田 直也 (2年)		

《静岡県席書コンクール》 入選 淡田 理恵 (3年) 岩田いずみ (3年) 岩田 直也 (2年)

《御殿場農協祭総合文化展》

【書道コンクール条幅の部】 銀賞 岩田いずみ (3年) 岩瀬 拓夢 (1年)

【交通安全ポスターの部】 銀賞 佐藤 もえ (1年)

《O I F A英語スピーチコンテスト》 (小山町国際友好協会)

国際ソロブチミスト御殿場賞 高橋実由希 (1年) 優秀賞 高杉 里帆 (2年)

《小山町周回コース駅伝大会》

中学生女子の部 第3位 池谷 撈紀 (2年) 鈴木 志歩 (2年) 山田 佳璃 (2年)

妹尾 晴華 (1年) 山崎 琉名 (2年)

区間賞 妹尾 晴華 (1年)

《静岡県青少年俳句大会》 中学生の部 奨励賞 池谷 拓海 (3年)

教育相談の日程 (※問い合わせは小山中学校〈76-0154〉まで)

学校医相談 (岩田先生) 3/14(火) スクールカウンセラー (砂山 SC) 2/28(火) 3/7(火)

子育てコラム⑤「よそ様」

子は思春期に差し掛かるころから、それまで行動の基準を示してくれていた身近な大人の言葉を、いったん疑い、自分の体験を通して納得した上で、価値基準を獲得していこうとします。そんな時期だからこそ、地域の人から叱られたり褒められたりする経験は大変意味があります。電車の中で走り回る子を注意したら、「うちの子を勝手に叱ってくれるな」と言われた、などという話を聞きますが、せっかく子が新しい価値に触れ、器を広げようとしている場面なのに残念です。みんなで地域の子を認めてほめて時に叱って育てていきたいものです。そのような豊かな経験を経て成長した子は、多くの場合、数年後に「親の言うことはもっともだったな」と、一回りしたのちに実感するのです。

家庭・地域でデジタルコントロールを

生徒の睡眠の状況が心配です。個人的に使えるスマホで友人とメールしたり、ゲームや動画視聴を夜中の2~3時までやっていたりして、十分な睡眠が確保できていない生徒がいます。学習意欲の低下やネット依存、昼夜逆転の生活などにつながる大きな問題です。この場合は相手もいることなので、保護者同士が連携して指導していく必要があります。「夜の9時以降はデジタル機器を保護者が預かる」などのルール作りを、家庭はもちろん地域全体で考えていく時代になっています。